

ここでの看護師の役割は、多くの業務をこなさなければなりませんが、利用者さんやスタッフとのコミュニケーションを大切に毎日充実しています。

悠悠タウン江波 看護小規模多機能事業所

看護師 **下野元美** さん

医療専門課程38回生



看護師になりたいと思ったきっかけ

高校生の時、祖母の介護に携わっていました。当時祖母は要介護1ぐらいで、そんなに手がかかることはありませんでしたが、母と一緒に身の回りの世話や食事を作っていました。そして、祖母を含め高齢の方と接していくうちに、「こういう仕事もあるんだな」と思うようになったのがきっかけです。また、高齢の方と関わるのが好きだったのもあります。

本校へ進学した理由

進路を考える時、経済的な点や将来性などいろいろ考え、医師会への進学を決めました。1歳年上のいとこが高等課程（准看護科）に進学しており、学校については知っていたことと、薦められたのもあります。入学後は卒業までの5年間、ずっと同じ医療機関で勤務し、半日働いて学校に通う生活を送りました。



利用者さんの血圧測定をする下野さん。

在学中の一番の思い出

専門課程（看護科）で、心不全の患者さんを受けもたせていただいた臨地実習が一番の思い出です。その患者さんは、初めはベッド上で「動きたくない」、「お風呂に入りたくない」と言われていました。私はどうしたらリハビリをしてくれるのかを考えながら関わらせていただきました。

最終的には入浴やリハビリをしてくださるようになったのですが、この実習で患者さんを支える多くの方の「働きかけ」や「関わり」というものが、患者さんの意識の変化につながっていく過程を実際に見せていただいたこともあり、一番印象に残っています。

また、この患者さんは学習したことが実際の症状として顕著に表れていたため、「こういう症状が出たら、こうアプローチしなければいけないんだ」という理解にもつながりました。そういったこともあり、この方との関わりを看護研究のテーマにさせていただきました。

悠悠タウン江波で仕事を始めたきっかけ

卒業後、複数の医療機関で勤務をしました。慢性期の療養病棟や介護病棟がほとんどです。日勤、夜勤と忙しい日々を送っていましたが、体調面のこともあり、日勤メインの勤務に変わろうと考えました。最初はデイサービスでの勤務を検討していましたが、たまたま悠悠タウン江波の求人を目にしました。

実は、悠悠タウン江波は初めての実習場所で、指導者さんと一緒に援助をしたことやレクリエーションの様子を見学したことなど、とても楽しい実習だったのを覚えており、その時の気持ちもあって勤務を始めました。

現在担当されている仕事内容

ここは「看護小規模多機能事業所」です。病院や施設とは違い、来られる方にとって「家」のような所と感じていただけたらと思っています。ですから、ここに来られる方のことは「患者さん」ではなく、「利用者さん」と言っています。1日に約10名から多くて14名の方が来られています。デイサービスで来られる方、ショートステイで泊まれる方もいれば、週に何日か泊まって、他の日は在宅で過ごされる方もいらっしゃいます。在宅で過ごされている時には、訪問看護と訪問介護にも入っています。

1日の仕事は、朝、利用者さんが来られたら看護師は医療者の目線でバイタル測定を行います。その他、排便管理、薬のチェックや胃瘻の方もおられるので、注入食の経管栄養の管理などを行います。医師による往診もあり、利用者さんの状態をきちんと把握し、報告しています。

仕事をするうえで大切にしていること

基本的なことですが、利用者さんに対しては、朝来られたら必ず、「〇〇さん、おはようございます。」「〇〇さん、いかがですか?」と自分から声をかけています。スタッフに対しても同様です。

利用者さんの意思を尊重することも大切にしています。例えば、ここでの入浴日は決まっているのですが、「今日は入りたくない。」と言われたら無理に入浴せず、「では、今度来られた日にしましょう。」と言います。意思表示ができる利用者さんがほとんどなので、「入りたくない理由」があるのです。それをきちんと聞いて、その方の気持ちを大切にしています。



利用者さんと笑顔で話をされる下野さん。

援助を行なう際は、利用者さんが「自分ではできないこと」に着目するのではなく、「ここまではできる」というように、その方ができるところを伸ばしていくような援助をさせていただいています。入浴の際、服をこちらが全部介助するのではなく、自分で脱ぐことができるところはしていただいて、そして脱いでいただいたら「ありがとうございます。」と言います。

看護師をめざす後輩へメッセージ

看護師が働く場所は、テレビやマスコミで報道されるオペ室やICU、救急車がひっきりなしに来る医療機関というイメージが強いかもしれませんが、看護師は多くの所で活躍できる、すばらしい職業です。私のように病棟勤務を長く経験した後も、きっかけさえあれば施設や在宅医療の現場でも働けます。誰かの役に立ちたいと思われている方、勉強は大変ですが是非めざしてみてください。

社会福祉法人 福祉広医会

悠悠タウン江波の紹介

介護老人福祉施設、ショートステイ、デイサービス、訪問看護ステーション等、多くの福祉サービスを展開し高齢者がいきいきとした生活を送れるよう、様々な面から日常生活を支える都市型高齢者福祉施設です。

また、広島市から委託を受けて広島市江波地域包括支援センターを設置運営されています。

看護師、生活指導員、ケアワーカー、栄養士等からなる多職種の職員さんが利用される方に“ゆったり”“楽しく”

“いっしょに” 過ごしてもらえることをキーワードに援助を提供しておられ、当校の実習施設としても、多くの学生を受け入れていただいています。



悠悠タウン江波

悠悠タウン江波
看護小規模多機能事業所



悠悠タウン江波のホームページはこちら

<https://www.city.hiroshima.med.or.jp/hma/youyou/>

広島市中区江波西二丁目14-8

TEL (082) 296-4880 (代表)